

## 農業発展のために新しい力を



新規就農者の皆さん

3月16日、市役所本庁で新規就農者支援対策事業認定書交付式が行われました。

この制度は、曾於市の農業を担う新規就農者を確保支援するため、認定後2年間にわたって毎月5万円から15万円を支援するものです。

今回は2人が認定。市長から1人ずつ認定書が手渡され、激励の言葉がありました。認定者の皆さんは「自分の目標に向かって頑張ります」と力強く抱負を述べました。

## 財部方面隊が財部中学校へ寄附金を贈呈



佐々木校長（左）と落合隊長（右）

2月28日、曾於市消防団財部方面隊が財部中学校へ寄附金の贈呈を行いました。

この寄附金は、昨年12月4日に行われた曾於市消防団財部方面隊親善ゴルフ大会での益金3万円。

大会当日は47名が参加し、オービーやバンカーショットが連発するなど終始笑いが絶えず、消防団員と関係者相互の親睦を深める一日となりました。

財部方面隊の落合秀雄隊長は「生徒のために必要とすることに使って下さい」と佐々木隆宏校長へ寄附金を手渡しました。

## 新たな決意を胸に



入隊・入校する皆さんと関係者

3月16日、大隅弥五郎伝説の里で「平成28年度自衛隊入隊者・入校生壮行会」が開かれました。

今年度、曾於市から入隊・入校するのは17名。壮行会では、入隊・入校者を代表して海上自衛隊に入隊する池上祐貴さんが「曾於市出身者であることを誇りに、立派な自衛官として全国で活躍することが一番のお礼だと思います」と決意を述べました。

会終了後には桜の記念植樹も行われました。これからの活躍が期待されます。

## 道の駅すえよしがりリニューアル



改装で140席に増えたレストラン

4月1日、道の駅すえよしでリニューアル記念式典が行われました。

外国人客に対応するため、トイレや館内の案内表示を日本語、英語、中国語、韓国語の4カ国語で表記。直売所も増床され、特産品などの充実が図られています。利用者客に人気のレストランは、改装により100席から140席に増えています。

メセナ末吉の吉川益夫社長は「職員、出荷者が知恵を出し合い、利用者客を増やしていきたいです」と話しました。



春の交通安全出発式

ダンスを披露する園児とそお星人

4月5日、曾於警察署で「春の地域・交通安全運動」の出発式が行われ、防犯、交通安全関係団体などから220人が参加しました。この運動は年に3回実施。地域住民が安全で安心して暮らせる街をつくろうと、あらゆる関係機関・団体と連携して警察署が行っています。

式では、輪光保育園の園児による太鼓の演奏があり、出発式に花を添えました。決意表明をそお星人が述べ「曾於市を事故のない、明るいまちにします」と宣誓しました。



弥五郎伝説の里で桜まつり開催

ご当地キャラが出題するクイズに答える子どもたち

4月2日、弥五郎伝説の里で「弥五郎の里桜まつり」が開催され、市内外から約2千人が訪れました。今年度は、3月25日から4月2日まで多目的広場周辺を焼肉広場として開放。当日も焼肉を楽しむ親子やグループなどで賑わっていました。

開花が遅れ、満開のなかでの桜まつりとはいきませんでした。来場者はステージイベントやご当地グルメなどを楽しんでいました。都城市からの親子は「子どもも楽しめるイベントがたくさんありよかったです」と話しました。



溝ノ口洞穴岩穴祭り

奴踊りを奉納する中谷の子どもたち

4月9日、財部町の溝ノ口洞穴（県指定天然記念物）で岩穴祭りが行われ、鹿児島市からのツアー客を含む多くの方が見物に訪れました。

毎年、お釈迦様が誕生した4月8日に近い日曜日に開催。中谷の子どもたちによる奴踊りと、青壮年による刀踊り（刀踊りと棒踊りは隔年奉納）が奉納されました。

中谷小2年の山元晃さんは「初めての奴踊りで緊張した。振り付けなどを覚えるのが大変だったけど、練習の成果が出てよかったです」と話しました。



家族経営協定を結び経営向上を

調印式に出席した関係者の皆さん

3月22日、市役所で家族経営協定調印式が行われました。

この協定は、家族による農業経営について、経営の方針や家族の個々の役割、就業条件・就業環境について家族で取り決め、実行していくものです。

今年度は、4組（丸山俊雄家・丸山優作家・森岡良輔家・中山行雄家）の家族が調印を結びました。

式では、市長他2名の立会人のもと、署名を行い「協定書の内容を守り、家族で協力して経営向上に取り組みたい」などの決意を述べました。